

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	文化財課長 鈴木 庸一郎	
文財-03	重点事業	史跡環境整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化財課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	史跡の指定、保存・管理、整備及び活用

1 事業の目的

対象	国等指定史跡
意図	国等指定史跡の整備及び保存・活用を行うため。
効果	国等指定史跡の保存・活用を図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・史跡大町釈迦堂口遺跡の崩落対策工事に向けた施工計画検討業務を行った。 ・史跡永福寺跡などの公開活用を行うとともに、公有地化した史跡の維持管理を行った。 ・現状で十分に公開活用が進んでいない史跡について、整備や管理手法の意見を聞くため、「鎌倉市史跡等整備アドバイザー会議」を設置した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		データ区分	01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人		人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯			
	事業の対象者数			事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	110,942	38,639	当初予算(千円)	113,770			
	国県支出金	10,118	7,485	国県支出金	47,713			
	地方債	27,200		地方債	12,400			
	その他	114	147	その他	52			
	一般財源	73,510	31,007	一般財源	53,605			
事業経費運営	人員配置数	3.5	3.5	人員配置数	2.0			
	人件費(千円)	27,379	27,525	人件費(千円)	15,471			
	総事業費(千円)	138,321	66,164	総事業費(千円)	129,241			
	市民1人当りの経費(円)	784	375	市民1人当りの経費(円)	733			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー NPO法人 鎌倉みどりのレンジャー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	史跡の積極的な公開、活用を進めていくために、本来、拡大することが望ましいが、限られた予算の中で有効活用を図っていくことから現状維持とする。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等が歴史・文化への理解を深めるための拠点として、史跡永福寺跡の公開活用を引き続き進めていく。 ・史跡大町釈迦堂口遺跡のトンネル部分の崩落対策工事施工計画検討業務を実施し、史跡への影響を最小限にするための工法案の検討を進めた。この成果をもとに、平成31年度中の着工を目指していく。 ・貴重な国民的財産である史跡の公開・活用については市民ニーズも高いが、永福寺跡以外の史跡は十分な公開活用ができていないため、日常的な維持管理や暫定的な公開活用の手法などについて、平成31年1月22日付で設置した「鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議」での意見を聞きながら、検討を行っていく。 ・指定地の維持管理は平成28年度から予算を増額するとともに、市民協働事業を開始するなど工夫しながら取り組んでいる。しかし、対象となる史跡の範囲が広範であるため、より効率的な管理手法についての検討を行っていく。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備部に委任している文化財課の史跡等での調査、整備等について、設計・入札事務の遅れ等の支障を改善する必要がある。 ・史跡永福寺跡について、適切な管理を行っていくとともに、より積極的に活用を行っていく必要がある。 ・限られた予算の中で、史跡指定地内の樹林や草地の適切な維持管理を行う必要がある。 	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備部と密に連絡を取ることで、工期の大幅な遅れはなく事業を実施することができた。 ・史跡永福寺跡の管理について、公園の管理などを参考にすることで、委託業務により円滑に実施するとともに、地元町内会と意見交換しながら、活用を進めた。 ・史跡指定地の維持管理については、予算を増額することで要望等に迅速に対応した。また、NPO法人鎌倉みどりのレンジャーと市民協働事業を実施することで、適切な維持に努めた。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡永福寺跡のトイレの設置に向け、近隣の地権者等との協議を進めているが、連絡が取れない件がある。 ・史跡永福寺跡以外の史跡については、十分な公開・活用ができていないため、鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議で意見を聞きながら、暫定的な公開手法を検討していく。 	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	指定史跡名勝天然記念物の件数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	77	18	14	1	41	29	16	12	9
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	整備や管理、調整等、文化財関係の必要な業務量は文化財数に比例するため、自治体の人口規模や財政規模ではなく、指定文化財の件数を指標として、必要な経費を確保し、事務体制を整備する必要がある。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	維持管理を実施した史跡数					単位	箇所	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	市が管理する史跡のうち、定期的な管理が必要な史跡数を目標値とした。		
適正な管理を行うことで、史跡を保護するため。	目標値	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0			
	実績値	9.0	8.0	10.0	11.0	10.0				
	達成率	52.9%	47.1%	58.8%	64.7%	58.8%				
指標の内容	一般公開されている史跡数					単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	史跡について公開・活用を図るため。		
史跡について公開・活用を図るため。	目標値	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0			
	実績値	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0				
	達成率	76.2%	76.2%	76.2%	76.2%	76.2%				
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成28年度から、日常的な維持管理にかかる予算を増額し、市民協働事業を実施したことにより、史跡の管理状況が改善されつつあるが、すべての指定地の管理が十分にできている状況には至らないため、さらなる工夫が必要である。史跡指定地の公開活用については、鎌倉市史跡整備等アドバイザー会議で意見を聞きながら暫定的な公開を進めていく必要がある。									